

# ひまわり

宮崎社会保険病院  
病院長 石川 正

宮崎市大坪西1-2-1  
TEL.0985(51)7575  
FAX.0985(53)8821



## 発刊にあたって

発刊にあたりまして、一言ご挨拶申し上げます。

宮崎社会保険病院におきましては、病院内に地域医療連携室を平成16年4月1日に開設いたしまして、先生方のご理解とご協力により順調にスタートしたところでございます。

先生方もご承知のように、地域医療連携室の目的は先生方と密接な連携を図り、患者様にとってよりよい医療を提供することにあります。

このようなことから、各医療機関の先生方とのコミュニケーションを図りより一層の地域医療の発展に貢献できますよう、本号を皮切りに機関紙として「地域医療連携室だより ひまわり」を発行するこ

とにいたしました。

ひまわりは季刊誌として年4回（4月、7月、10月、1月）の発行を予定しております。内容につきましては、当病院の診療科の紹介、地域医療連携室の状況、症例検討会の実施状況をはじめ医療機関の先生方のご紹介もさせていただくことも計画しております。

このような企画は初めての試みでございます。読みにくい面もあろうかと存じますが、ご一読いただきますとともに、よりよい「ひまわり」の発行のためにご指導ご助言をいただきますようお願いいたしまして、発刊に当たってのご挨拶とさせていただきます。

平成16年7月吉日



地域医療連携室長  
(副院長)

白尾 一定





# ご紹介します! 社会保険病院の

## 日本形成外科学会認定施設 91-827A

宮崎社会保険病院 形成外科主任部長 横内 哲博

形成外科とはあまりなじみのない科ですが、我々の所属する長崎大学の形成外科は昭和35年に形成外科の診療班として発足した日本で最も古い歴史を持っています。何故かと言いますと、長崎はご存じの通り、原爆での被害を受け、その瘢痕やケロイドの患者様が多数いました。そのような、瘢痕やケロイド、放射線の難治性潰瘍を治す学問を確立させるべく、原爆の生き残りである初代教授の難波雄哉先生が努力され、長崎の地で形成外科が発展してきました。その為、

形成外科の理念として、「なるべく機能的、整容的にもとの状態のように治す」事を心がけています。

宮崎では、形成外科認定施設は当院しかない為、形成外科が専門分野である疾患に関しては、すべて受け入れるよう努力しております。特に、指切断などの手の外傷や顔面外傷、熱傷などは緊急を要しますので、365日24時間体制の救急体制を整えています。

その他の取扱い疾患として、小耳症、唇裂などの先天性奇形、悪性腫瘍を含む皮膚・軟部組織

腫瘍、瘢痕、ケロイドや褥瘡などです。特に、腫瘍切除後や外傷による皮膚・軟部組織・骨などの組織欠損に対しての、マイクロサージャリーである血管柄付き自家遊離複合組織移植に現在、力を入れているところです。

当院に派遣されている形成外科医3名とも、ここ宮崎の地で形成外科が根付くよう頑張っておりますので、よろしくお願い申し上げます。

形成外科に関することでしたら、いつでも遠慮なくお申し付け下さい。

### 手術内容 (2003年1月1日~12月31日)

区	分	件数	区	分	件数
(1)	新鮮熱傷(全身管理を要する非手術例を含む)	26件	(7)	悪性腫瘍およびそれに関連する再建	24件
(2)	顔面骨骨折および顔面軟部組織損傷	98件	(8)	瘢痕・瘢痕拘縮・ケロイド	82件
(3)	唇裂・口蓋裂・その他の顔面先天異常	1件	(9)	褥瘡・難治性潰瘍	69件
(4)	手・足の先天異常・外傷	192件	(10)	美容外科	30件
(5)	その他の先天異常	10件	(11)	その他	76件
(6)	母斑・血管腫・外傷	142件			

## 症例検討会へどうぞ

宮崎社会保険病院症例検討会

宮崎社会保険病院では、毎月1回定期的に症例検討会を実施しています。

症例検討会の目的は、臨床症例について意見交換及び研究討議を行い、医療技術の向上を図るとともに、地域医療施設間での連携を強化し、住民の健康の確保及び地域医療の発展に貢献するものです。先生方のご参加をよろしくお願いいたします。

### 【8.9.10月の症例検討会実施状況】

※いずれも、社会保険病院大会議室で、午後7時から開催します。約1時間30分の予定です。

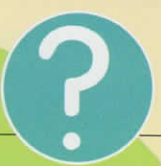
- 8月(8月はお休みです) ● 9月(9月14日(火))
- 10月(10月19日(火))

毎月数名の先生方にご参加いただいております。軽食も用意しておりますので、多くの先生方のご参加をお願いします。

### 【5.6.7月の症例検討会実施状況】

- 5月(5/18実施) ・2003年における肝・胆道疾患手術症例  
・SLE症状の乏しいループス腎炎の1例  
・両内腸骨動脈塞栓術後の広範囲腰部褥瘡  
・びまん性肺疾患のHRCT：基礎編
- 6月(6/16実施) ・2003年における肺疾患手術症例  
・当科における最小侵襲手術  
・胸骨・肋骨骨髓炎の1例  
・2003年における急性心筋梗塞症例の心電図の検討
- 7月(7/14実施) ・腱損傷を伴う掌側皮膚軟部組織欠損の2例  
・両側変形性肩関節症にて一側に人工関節片置換術、他側に人工肩関節全置換術を施行した1例  
・当院における腹腔鏡下手術について  
・造影剤とその副作用について





# NST

(エヌ・エス・ティー)

NST (エヌ・エス・ティ)

**Nutrition Support Team**

の頭文字をとった略称で日本語では  
**“栄養サポートチーム”**  
 となります。



▲ランチタイムミーティング

## 栄養課 吉田 祥子

私たち宮崎社会保険病院では平成14年6月に病院長直属の全科型NST委員会を立ち上げ、各部署から人・知恵・力を持ち寄るシステムで患者様の栄養管理を行っています。

当院のNSTでは栄養管理を必要とするすべての患者様を対象に、1つの症例ごとに、医師・看護師・薬剤師・検査技師・ST・PT・栄養士が一緒になってチームとして患者様に適切な栄養管理を提言します。活動内容は毎週金曜日昼食を食べながらの①ランチタイムミーティング(症例の検討)、毎週水曜日実施の②NST回診(問題症例を中心に回診します)、月一回実施の③NST委員会(運営方針の討議)の三本柱から成り各部署からメンバーが選出されています。このようなNST活動によって、効率がよく質の高い医療が提供でき、患者様の早期退院にもつながります。またスタッフにとっては知識の修得にもなり、士気が高まります。皆様の御施設で栄養不良の患者様の診療にお困りの際は是非当院のNST外来(毎週水曜日午後)をご利用ください!

### プロフィール

Profile

形成外科 主任部長

横内 哲博 医学博士

専門分野 形成外科全般を修得した専門医である

出身大学 長崎大学医学部

出身医局 長崎大学医学部形成外科

所属学会 日本形成外科学会(専門医)  
 日本頭蓋顎顔面外科学会  
 日本手の外科学会  
 日本熱傷学会(認定医)  
 日本褥瘡学会  
 日本マイクロサージャリー学会

### プロフィール

Profile

形成外科 部長

大安 剛裕 医学博士

専門分野 顔面外傷・手の外科  
 唇顎口蓋裂等の先天性奇形

出身大学 大分医科大学医学部

出身医局 長崎大学医学部形成外科

所属学会 日本形成外科学会  
 日本熱傷学会  
 日本頭蓋顎顔面外科学会

### プロフィール

Profile

形成外科 医員

岡 潔

専門分野 形成外科

出身大学 大分医科大学医学部

出身医局 長崎大学医学部形成外科

所属学会 日本形成外科学会  
 日本熱傷学会  
 日本頭蓋顎顔面外科学会

検討会風景



# 宮崎社会保険病院 外来担当医一覧表

診療科	曜日		月	火	水	木	金
	診療	患					
内科	新患		渡邊 玲子	窪山 美穂	松尾 剛志	松尾 剛志	平山 直輝
			早稲田文子	深江 裕子	早稲田文子	平山 直輝	窪山 美穂
	再来		平山 直輝	石川 正	石川 正	石川 正	松尾 剛志
			湯池 宏明	福留 慶一	渡邊 玲子	渡邊 玲子	福留 慶一
			窪山 美穂	平山 直輝	窪山 美穂	早稲田文子	深江 裕子
				今村 卓郎	北村 和雄	深江 裕子	渡邊 玲子
	特殊再来(午後)				湯池 宏明	湯池 宏明	福留 慶一
外科			白尾 一定	貴島 文雄	白尾 一定	崎田 浩徳	白尾 一定 (乳腺・甲状腺)
	ストーマ外来(午後)		貴島 文雄 (第1、3月曜)				貴島 文雄
	NST外来(午後)				白尾 一定 (第3水曜は除く)		
形成外科			横内 哲博	大安 剛裕	横内 哲博	大安 剛裕	横内 哲博
			岡 潔	岡 潔	大安 剛裕	岡 潔	大安 剛裕
整形外科			本部 浩一	本部 浩一	本部 浩一	栗原 典近	本部 浩一
			江夏 剛	栗原 典近	船元 太郎	江夏 剛	栗原 典近
放射線科			結城 康弘	結城 康弘	杜若 陽祐	杜若 陽祐	杜若 陽祐
プライマリーケア(午後)			深江 裕子 (福留 慶一)	福留 慶一 (早稲田文子)	渡邊 玲子 (窪山 美穂)	窪山 美穂 (福留 慶一)	早稲田文子 (深江 裕子)

\*都合により変更になる場合があります。

**受付時間 8:30~17:15** (但し、急患・紹介患者はこの限りではありません)

## 編集後記

地域医療連携室「ひまわり」の名称は、宮崎社会保険病院のシンボルフラワーから取ったものです。  
はじめての試みで、内容的に不十分とは思いますが、先生方のご意見ご指導を賜りながら、充実を図ってまいりますのでよろしくお願いいたします。  
また、先生方の医療機関の紹介コーナーも設けまして次号から掲載の予定ですので、ぜひご協力をお願いします。

ご意見・お問い合わせ

宮崎社会保険病院 地域医療連携室

TEL.0120-855-082 FAX.0120-855-083

(地域医療連携室長:白尾一定 専任担当:中野裕子)